色とりどりの秋
家族で文化財を巡ろう！
吉田編

④月山神社（つきやまじんじゃ）

山の中腹、高度130mの奥まったところにある月山神社。ふもとにある鳥居から本殿まで300mの道のりで、本殿には月の神の月夜見命（つきよみのみこと）を祀っています。かつて吉田小学校の地にあったと言われる龍光寺に祀っていた月山大権現を文久元年（1861）にこの地に移し、月山神社と改めたと旧吉田村村史に書かれています。

⑤ハナレ森遺跡（はなれもりいせき）

奈良・平安時代ごろの須恵器を焼いた窯跡や製鉄遺跡が吉田地区から山元町にかけた亘理郡南部に集中してあり、近年、ハナレ森遺跡周辺では、鉄滓（てっさい）やふいごの羽口などが大量に発見されています。

窯業、製鉄に関する文献資料も乏しいため郡内の生産活動の規模は不明ですが、窯跡・製鉄遺跡は古代の亘理を知るための大きな手がかりになる可能性を秘めています。

⑥大塚古墳（おおつかこふん）

水田の中に１基だけある古墳で、周辺の人から「だんこ山」と呼ばれ親しまれていました。現在は周りが水田ですが、造られた当時は海岸に近い砂浜が広がっていた場所だったと考えられます。

直径33m、高さ４mで５世紀ごろ造られた円墳と見られています。

コース沿いには多くのりんご園があります。
亘理のりんごは蜜がたっぷり入った完熟りんごで、ほとんどが軒先販売などで完売となるため市場に出回りません。この機会にぜひ訪問してみてはいかがでしょうか！
りんご園の目印は、軒先にある宅配便などの旗です。

コース

今回は農村創作活動センターに車を停めて、①から⑤の順に巡っていただくコースを設定しました。みなさんの体力や時間に合わせて、調整しながら交通事故に十分注意して巡りましょう。

⑥は浜吉田駅から北へ約１kmのところにあります。こちらもぜひお立ち寄りください。

①宮前遺跡（みやまえいせき）

吉田小学校の北に位置する遺跡で、竪穴（たて）住居跡54軒がみつかっている古代の集落跡です。

このうち29軒が古墳時代のもの、５軒が平安時代のものと推定されています。これらの住居跡と出土した土器など調べてみると、この一帯は古墳時代前期に集落となって後期には一時集落がなくなり、平安時代にまた復活したことが分かりました。

なかでも古墳時代前期の集落はすぐそばの長井戸古墳群とかかわりがあると考えられています。

②長井戸古墳群（ながいどこふんぐん）

５世紀ごろのものと推定されている古墳群です。

一番大きな前方後方墳（長さ40m、幅20m、高さ３mほど）１基と小規模の円墳や方墳が５つあります。

すぐそばに宮前遺跡があり、亘理郡内には集落と古墳群が一体となっている遺跡がここ以外には見つかっておらず、古墳時代前期の郡の中心であった可能性があります。

③畑中貝塚（はたなかかいづか）

縄文時代後期から晩期（約3000～4000年前）の遺跡で、２ヵ所の貝層や柱の跡などが見つかりました。

みつかった土器が椿貝塚（逢隈上郡）のものと似ていることから同じ頃にできたと考えられます。